

ウスバシロチョウの分布調査Ⅳ

永幡 嘉之

但馬でのウスバシロチョウ *Parnassius glacialis* の分布調査も、これで4年目となる。結果はその都度本誌に報告してきたが^{1) 2) 3)}、その間に鳥取県東部での調査報告も発表され⁵⁾、山陰地方における本種の分布も次第に明らかになってきている。

当初の目的が、「但馬ではどの程度、海岸近くまで分布するのだろうか」という点にあったことから、1994年の調査はかねてからの懸案であった浜坂町海岸部と久斗川流域に重点を置いた。浜坂町における分布についてはすでに報告し⁴⁾、いくらか重複する部分もあるが、ここでは但馬地方における1994年の調査結果をまとめておきたい。調査はすべて1994年、採集者は筆者である。

1. 美方郡浜坂町

奥諸寄大栃川上流（2♂♂, 9-V）, 京屋二又川上流（10♂♂ 1♀, 14-V）, 田君（2♀♀, 16-V）, 久谷桃観峠（5♂♂ 1♀, 14-V）, 三尾間塩（2♂♂ 1♀, 14-V）, 藤尾鹿間谷（2♂♂, 20-V）, 大味（2♂♂ 1♀, 14-V）, 中小屋（9♂♂ 2♀♀, 14-V）, 中小屋ワシン谷（1♀, 14-V）, 大滝（8♂♂, 14-V）, 境（6♂♂ 3♀♀, 16-V）, 久斗山（7♂♂, 20-V）, 久斗山西ノ谷（4♂♂ 4♀♀, 20-V）, 久斗山宮谷（10♂♂ 3♀♀, 20-V）, 久斗山イモージ谷（7♂♂ 1♀, 20-V）, 本谷（8♂♂ 3♀♀, 20-V）, 本谷創造の森（1♂, 20-V）。

他に、和田（1頭 16-V）で目撃した。居組（18-V）, 七釜（16-V）, 赤崎（14-V）, 三尾・小三尾（14-V）, 城山（18-V）, 辺地（14-V）, 藤尾（16-V）では発見できなかった。

2. 美方郡温泉町

後山（9♂♂ 4♀♀, 16-V）, 鐘尾（2♂♂ 1♀, 23-V）, 千谷（10♂♂, 9-V）, 田中（3♂♂, 23-V）, 肥前畑（1♂, 23-V）。

他に、鐘尾（8-V）, 前（8-V）, 花口（19-V, 23-V）で目撃。中辻（23-V）, 千原（23-V）では発見できなかった。

3. 美方郡村岡町

和佐父（9♂♂ 3♀♀, 10-V）, 小城（5♂♂, 29-V）.

小城では, 集落付近の他に山田溪谷側の伐採跡地でも見られた. 他に, 熊波（8-V）, 作山（3-VI）で目撃.

4. 養父郡関宮町

福定（1-VI）で目撃.

当初は, 4年間で美方郡内における分布を調査し, 現状を把握することが目的だった. 浜坂町, 温泉町については, 大まかな分布の概要はつかめたかと思うが, 村岡町, 美方町では未調査の集落が多い. また, 本年調査できなかった香住町西部には特に関心をもっている. 本種の分布で意外に思われたことは, 温泉町の照来台地のように多産地が点在する地域でも, 分布は決して面的ではなく, 場所によっては全く姿が見られない地域があるという現象である. 概して谷密度の大きな地域には本種は多い. とかく垂直分布の下限ばかりが注目されがちな本種の分布調査だが, 分布を制限する要因を考える上では, 山間部での細かな分布を調べることもまた必要ではないだろうか.

なお, 1994年は気候の関係からか本種の発生が早かった. 蒲生峠の鳥取県側にあたる鳥取県岩美郡岩美町蕪島では5月3日に数個体を目撃しているので, 但馬の平野部での発生も同じ頃から始まっていたものと思われる.

参考文献

- 1) 永幡嘉之(1993) ウスバシロチョウの分布調査Ⅰ, IRATSUME17:31-32.
- 2) 永幡嘉之(1993) ウスバシロチョウの分布調査Ⅱ, IRATSUME17:33-34.
- 3) 永幡嘉之(1994) ウスバシロチョウの分布調査Ⅲ, IRATSUME18:46-47.
- 4) 永幡嘉之(1994) 浜坂町のウスバシロチョウ, 因幡のむし29:7-15.
- 5) 竹内 亮(1994) 鳥取県東部のウスバシロチョウ, すかしば39/40:19-23.
- 6) 黒井和之(1993) 美方郡西部のウスバシロチョウの新産地と知見, IRATSUME17:28-30.